

令和3年度の学校自己評価アンケートの集計結果について(報告)

本校の教育活動について、皆様のご意見を聞き、今後の教育活動に生かすことを目的に、今年度も学校自己評価アンケートを実施しました。保護者の皆様や施設職員の皆様にご協力をいただき、大変ありがとうございました。回答状況は以下のとおりです。集計結果は、グラフと合わせて学校ホームページにも公開しています。

| | |
|----------|--------------|
| アンケート期間 | 10月1日～11月4日 |
| 保護者・施設職員 | 138名 回収率 92% |

アンケートは、各項目とも5段階（A:よくできている、B:概ねできている、C:あまりできていない、D:全くできていない、E:よくわからない）で評価をしていただきました。考察にあたっては、A+B 評価が80%以上、かつ、昨年度のA+B 評価と比較して増えた項目を「高評価」とし、反対に、A+B 評価が80%未満、または昨年度のA+B 評価と比較して減った（10%以上）項目を「低評価」としました。

○高評価《特徴的な項目、「→」は考えられる理由》 *（A+B 評価、昨年度比）

⑤学校は掃除がされて、清潔さを維持している。（94%、3%増）

→感染症対策として、校内の消毒や清掃を丁寧に行ったり、西っこ元気プロジェクトで「整理整頓・そうじ」をテーマに掲げ、全校で取り組んだりすることができたため。

⑬健康や命の大切さ、事故やけがの予防などについて指導している。（82%、3%増）

→マスクの着用や手洗いの励行、ソーシャルディスタンスの確保や体温の測定など、感染症対策に徹底して取り組むことができたため。

○低評価《今後の課題と思われる項目、「→」は考えられる理由》 * (A+B 評価、昨年度比)

⑭学年や学部が変わっても、引き継ぎができています。(72%、2%減)

→学部間や学年間での連携不足。個別の教育支援計画を活用した丁寧な引継ぎが必要。

⑯居住地校交流、地域交流、ボランティアの活動、近隣の公民館や商店などの施設の利用を通して、社会性の育成に努める。(73%、13%減)

→コロナ禍のため、地域と関わる活動(交流学习、校外学習、現場実習など)が中止または、延期になったため。

⑰学校は保護者や外部へ積極的に情報発信を行っていて、保護者や地域の方々に行事を通して理解推進・地域連携を図っている。(78%、2%減)

→行事等の中止により、学校の様子を直接伝える機会が減少したため。新しい生活様式を踏まえながら、行事等を工夫して計画していく必要がある。

○自由記述欄(回答)については、別紙参照

○上記の集計結果と教職員評価を合わせ、来年度に向けて、以下のことを重点に改善及び充実を図っていきます。

①児童生徒の実態に合わせた指導の充実

実態に合わせた教材・教具の工夫や自立活動の視点を持った個人目標の設定

②地域関係諸機関との連携

新しい生活様式を踏まえた地域資源の活用や支援機関との連携

③学部間や学年間での指導の引き継ぎ

学部や学年が変わったときの保護者への丁寧な説明

④働きやすい職場作り

校務分掌の適正化、職場環境の改善、教職員同士のサポート体制の実践